



つねとし ともこ

## 伊賀びと(名張市) 常俊 朋子さん(47) NPO法人こどもの安全を守る会「コアラ」代表

名張市立つつじが丘小学校のPTAと地域住民の21人が協力しあい、こどもの安全を守る会「コアラ」を結成して3年目。4人の子育てに悪戦苦闘しながら地域活動に携わってきた常俊さんが代表を引き受けて2年になる。

小さい頃からおっとり物事を考えることの好きだった常俊さんは大阪の服飾専門学校を卒業後、服飾コーディネーターとして5年間百貨店に勤務したが、出産を機に退職し、子育てに没頭。その体験のなかで、「自分の子どもを育てるには周囲の子どもたちも一緒に育てる必要がある」ことを学び、現在小学6年になる1番下の子が幼稚園時代に地区委員を引き受けたのを手始めに、地域活動に熱心に関わるようになった。

「コアラ」は同小と連携して校区内の登下校の指導や安全サポート活動などを実施。子どもを狙った不審者による事件が多発していることから、会員や協力者の車に「防犯パトロール」のステッカーを貼ったり、「こどもを守るパトロール隊」の蛍光タスキを着用したりと、安全な地域づくりに取り組んでいる。分団登校の意義を子どもたちに考えてもらいたいと、広報紙「コアラホットニュース」も隔月で発行。NPO法人の取得を機に、今後はパトライト(青色灯)を装備した車で広範囲のパトロール活動を計画中。

常俊さんは「地域の人と子どもがごく自然に挨拶できるまちづくりが目標です。今はタスキ隊やパトロール隊が必要ですが、ゆくゆくは何もしなくても平穏な地域になることを願っています」と話している。



かわかみ よしひで

## 伊賀びと(伊賀市) 川上 善幸さん(43) いが移動送迎連絡会代表

伊賀市玉滝の天理教本福泉分教会で教会長を務める川上善幸さん。今春「道路運送法第80条」の内容が見直しされることから、移動送迎サービスボランティアの存続を目指し「いが移動送迎連絡会」代表として施策を練っている。

堺市で中学時代までを過ごし、父親が天理教会長だったことから天理教校(高校)に進学。マーチングバンドクラブの部員として練習に明け暮れ、在学中に2度も全国優勝に輝いた。卒業後は教理を学ぶために第二専修科(5年制)に入学したものの1年半で中退。大阪の親教会で17年間修養を積んだ。



父親の跡を継ぐ目的で玉滝の分教会に赴任したのは5年前のことで、地域貢献にと旧友から誘われて始めたのが外出支援サービスボランティア「さんぼ倶楽部」の活動だった。高齢者や障がい者をはじめとする利用者からの声に応え、買物や通院などの移動送迎を行うボランティアを年間350回も引き受けているが、今春から見直される「80条」のガイドライン問題で、国から示された条件をいかにクリアするかなどを検討するための「連絡会」を昨年10月に立ち上げ、関西STSの協力を得ながら移動送迎ボランティア仲間やNPO団体、伊賀市社協と話し合いを進めるとともに、ケア輸送講習会などを計画実施している。

川上さんは「国の認可を取得するためには高いハードルをいくつも越えなければならず、利用者の立場に立った移動送迎サービスが継続できるよう知恵を絞りたい」と力を込めた。

# なんでもかんでも情報BOX

## 協働塾実績報告会の開催

～市民が活動しやすい環境とはどのようなものか、みんな  
で考えましょう～

【日時】2月25日(土)13:30～17:00

【場所】三重県伊賀庁舎4階会議室

【内容】

第1部(13:30～15:20)

平成17年度「協働塾」の報告

多文化共生づくり協働塾(多文化共生ネットワーク)

伊賀線協働塾(ふるさと鉄道保存協会730037伊賀WG)

住民自治のまちづくり塾(W.T.Aまちづくりセンター)

第2部(15:30～17:00)

協働の現状と課題についてミニ討論会

【問い合わせ先】伊賀県民局生活環境森林部

電話 0595(24)8137

## 第8回 住民自治のまちづくり塾開催

いよいよ最終回となりました。伊賀市自治基本条例  
の活用を目標に、伊賀市の住民自治を進めて行こう  
と、第6・7回の塾で討議しました。

今後も自分達にとってよりよい伊賀市となるように  
検討したいと思います。

住民自治協議会の皆様、市民活動をされてる皆様  
等、ぜひご参加ください。

【日時】2月23日(木)19:00～21:30

【場所】三重県伊賀庁舎4階会議室

【問い合わせ先】W.T.Aまちづくりセンター(中盛)

住所 〒518-0867 伊賀市上野福居町3317

電話 0595(24)7612

URL [http://www.geocities.jp/william\\_tells\\_apple/](http://www.geocities.jp/william_tells_apple/)

## 大人たちのdokidokiコンサート

【日時】2月26日(日)13:30開演

【場所】名張市青少年センター

【参加費】入場無料

【主催】財団法人名張市社会教育振興会

大人たちのdokidokiコンサート実行委員会

## 第7回 陽だまりコンサート

「障がいのあるなしを超えた、人と人との共感」を  
テーマに多くの市民の方々と一緒に創り上げた楽しい  
コンサートです。

【日時】3月12日(日)13:30開演

【場所】名張市青少年センター【参加費】無料

【問い合わせ先】陽だまりコンサート実行委員会

事務局 名張育成園内(とも)担当:東川

電話 0595(65)3774

FAX 0595(66)5577

## 伊賀地域ごみゼロ推進交流会の開催

三重県では、20年後に「ごみゼロ社会」をめざし  
て「ごみゼロ社会実現プラン」を策定しました。伊賀  
県民局では、家庭や職場でごみ減量化に取り組むきっ  
かけづくりとしてバス視察&交流会を開催します。

【日時】2月28日(火)

8:00に三重県伊賀庁舎からバスで出発し、解散  
は19:00頃予定

【行き先】紀宝町役場

【対象】原則として伊賀地域にお住まいの県民

【内容】

- ・車中で伊賀地域の先進的なごみ処理の取り組み事  
例紹介
- ・紀宝町で堆肥づくり施設見学と一般廃棄物処理の  
現状のお話

【参加費】無料 昼食は各自準備してください。  
(希望者には実費で斡旋)

【定員】45人程度。申し込み多数の場合は抽選。

【申込方法・締め切り】

住所、氏名、性別、年齢、電話番号を記入し、FAX  
が郵送で申し込みください。2月20日(月)必着

【申込・問い合わせ先】

伊賀県民局生活環境森林部環境グループ

住所 〒518-8533 伊賀市四十九町2802

電話 0595(24)8078

FAX 0595(24)8112

## ブラジル・ポルトガル語入門講座

【主催】上野国際交流協会

【共催】通訳NPO法人 伊賀の伝丸

【内容】初心者向けの全6回講座。

ブラジルで使うポルトガル語をていねいに教えます。

講座後半にはブラジル人との交流日もあるので、実際  
に使って覚えられます。ぜひ、ご参加を!

【日時】2月28日(火)、3月2日(木)

3月7日(火)、3月9日(木)

3月14日(火)、3月16日(木)

いずれも19:00～21:00

【場所】上野ふれあいプラザ3階中会議室

【講師】通訳NPO法人 伊賀の伝丸

事務局長 丹下智香子

【定員】30名(伊賀市内在住または在勤の方)  
定員数を超える場合は抽選

【受講料】1000円

(上野国際交流協会会員は500円)

【申込締切】2月17日(金)まで

【申込・問い合わせ先】

伊賀市役所北庁舎3階地域振興課内

上野国際交流協会

電話 0595(22)9629

(月～金)9:00～17:15



## あなたがあなたらしく生きるために 女性の心とからだの健康を考えよう

最近、心やからだのことで、気になることはありませんか。夫との関係、子どもとの関係で気になることはありませんか。

妊娠から出産まで、定期的に多くの女性に接してきた助産師の沼田さんから、女性の体の変化や心身症状の背景にかけられているさまざまな問題について、わかりやすくお話しただく予定です。

【日時】3月5日(日) 13:30~15:30

【場所】名張市保健センター(名張市朝日町1361-4)

公共交通機関を利用してお越しください。

【講師】阪南中央病院 助産師 沼田やよい

【参加費】無料(申込不要)

【託児申込】託児を希望される場合は7日前までに申し込んでください。

【問い合わせ先】DVを考える会・いが事務局

伊賀県民局生活環境森林部内

電話 0595(24)8137

## 多文化共生社会づくり講座の開催

伊賀地域の外国人の子どもたちの教育環境について考えよう!

【日時】3月7日(火) 13:30~16:30

【場所】三重県伊賀庁舎7階大会議室

【内容】

第1部 岐阜県可児市での取り組み状況

可児市教育委員会 小島祥美

第2部 伊賀地域の外国人の子どもを取り巻く環境について

パネルディスカッション

【参加費】無料(申込不要)

【問い合わせ先】

伊賀県民局生活環境森林部

電話 0595(24)8137

## 老人介護講演会

(名張市市民公益活動実践事業)

【日時】3月12日(日) 10:00~16:00

【場所】名張産業振興センター「アスピア」

【講演内容】

「愛知の組織づくり」

はじめのいっぽ 野上美千代

「地域で老いを支えること」

宅老所よりあい 村瀬孝生

「親子じゃないけど、家族です」

富山型デイケアハウスにぎやか 阪井由佳子

【参加費】セミナー開催協力金 1,500円

【申込・問い合わせ先】

NPO法人和嬉会愛(わきあいあい)中山

電話&FAX 0595(68)2390

電話は20:00以降にお願いします。

## B' Lucky Cat 招福黒猫

定例ライブ NO.46 since2001

【日時】2月18日(土) 19:00~21:00

【会場】ギャラリー・楽(名張市松崎町1435)

【出演】オカノ、スコップ&モモコ、ウキナ、他

70年代カワド特集 アコースティック・スペシャルライブ

【日時】2月25日(土) 19:00~21:00

【出演】ef、シバ、ウラジ、シノサキ、他

【会場】旧中村家具(名張市本町丁字屋角)

【窓口】090(3389)4353(山下)

【参加費】いずれも無料

## 第8回伊賀線協働塾講演会

先日から新聞記事等で近鉄伊賀線の新会社による運営などが話題となっておりますが、伊賀地域にとっての重要な交通網の一つである伊賀線を、住民としても考えてみませんか?皆様多数ご参加ください。

【日時】2月26日(日) 13:30~

【場所】調整中

【内容】京都大学大学院工学研究科 中川 大助教授

ふるさと鉄道保存協会 笹田 昌宏理事長


【参加費】無料(申込不要)

【問い合わせ先】伊賀線協働塾事務局

電話 0595(24)7612

詳細はお問い合わせください。伊賀上野ケーブルテレビ文字ニュース等でも場所が決まり次第流します。

ライブキャンプ春編



4/1~5/7 期間中の毎土・日・祝

上野公園内 愛問亭前広場 午後1時~4時

# 出演者大募集!

バンド、コーラス、邦楽、ダンス、お笑い、一発芸 etc.  
なんでもかんでもジャンル不問。

音家ライブもお問い合わせ下さい。

ライブキャンプ実行委員会

★お問い合わせ 090-5866-0738

青少年の居場所事業  
音家  
OTOYA  
presents  
伊賀市市民局生活環境森林部  
伊賀県民局生活環境森林部

# 伊賀び～と紙面相乗りコーナー

## NPOバリアフリースタジオ「同夢」

「同夢」@ユニバーサルデザイン専門の市民活動団体です・<http://www.doumu.net>

同夢 doumu  
バリアフリーからユニバーサルデザインへ

同夢5年間の活動記録です。(必要な方はご連絡ください) TEL(23)9513 孫まで

ユニバーサルデザイン情報提供事業  
「名張市公共施設調査・報告書」

名張市市民公益活動実践事業  
名張市の公民館や市民センター16ヶ所の調査結果をまとめています。  
(2月末 完成予定です)

### 2006年、同夢がバージョンアップします！！

年齢、性別、国籍、文化、身体状況などの違いを認め合い、多様な生き方を尊重し、支え合って暮らしていく共生社会実現のために、共に育ち合うことを願い、調査・研究・講演等の事業を行うことで、ユニバーサルデザインのまちづくりの発展に寄与することを目的に、

「特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢」を設立します。どうぞ、よろしく願いいたします。また、バリアフリースタジオ「同夢」は3月31日をもちまして、解散させていただくことになりました。ご支援をいただきまして、ありがとうございました。

## えこころいすとマガジン 伊賀び～と版 「芸術交流活性グループえこころ倶楽部」

### 【年末年始の報告です】

今年最初の原稿です！よろしくおねがいいたします。昨年12月にゆめドームで開催された「イガデハク＝伊賀で博覧会」は臨時駐車場を設けるほど大勢の人が訪れてくれました。テーマである「伊賀でつながる・伊賀からつながる」の言葉通り、伊賀一地域のイベントとしてはもちろん、圏外の参加者・来場者とともにその空間の中で、大きなつながりが生まれたように思えます！準備の1年間、応援いただいた皆様には感謝の気持ちで一杯です！イベントの状況などは、現在レポートを編集中です。出来次第HPなどで公開いたしますので、お楽しみに！

その気分も冷めない、12月中旬～1月15日までは、槇山のギャラリー30にて「ゆくとし・くる・クリエーター展」を行いました。名張育成園の皆さんの絵画作品と私どもが公募した作家・作品とのバリアフリーな視点での空間作りを目指しました。大変残念な事に、近年まれにみる異常気象！ユキ・凍結で、お客さんどころか、関係者も会場への到達がままならない日が続く状況になってしまいました。とてもいい空間が出来たのですが…。その代わりに、写真をたくさん撮っておきました。後日HPやレポートのカタチでみなさんに紹介したいと考えております。

### 【問い合わせ & 情報提供 = FAXかMAILにて】

FAX: 0595-52-3845 MAIL: [webmaster@g-ring.com](mailto:webmaster@g-ring.com)

\*必ず文章でお願いいたします。電話でのアクセスはご遠慮いただいています。

HPからも投稿が出来ます。是非アクセスを！ <http://www.g-ring.com/index2.html>

# 伊賀市市民活動支援センター

住民自治協議会さんの実施されるイベントや講習会等のチラシ作成の相談等を受けました。これに関しましては、当支援センターにワードで作るチラシの本がありますので、ご活用いただきました。その他 NPO 関係の書籍などの貸出もしております。皆様もどうぞご利用ください。

## <お知らせ>

### 「市民活動団体のための労務研修会」開催

日時 平成18年2月16日(木)午後 2:00~  
 場所 大山田農村環境改善センター 多目的ホール  
 講師 社会保険労務士 志浦久雄 さん

### 内容 雇用保険・社会保険・労働災害などについて

住民自治協議会や NPO 団体等が、事務局職員などを雇用するときに必要となる手続きや事務などについて研修会を開催します。参加には申し込みが必要です。

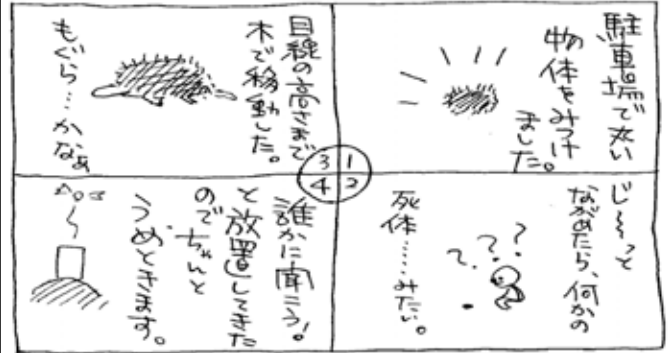
詳細については、下記までお問い合わせください。

当センターでは、インターネットに接続したパソコン(4台)を利用して情報検索していただけます。プリントアウトは有料となりますが、パソコン利用は無料ですので、ご活用ください。

休館日: 月曜・年末年始(臨時休館あり)  
 開館時間: 午前9時から午後9時  
 (ただし、午後5時以降は前日予約が必要)

〒518-1395 伊賀市馬場1128番地 多目的集会所内  
 TEL: 0595-43-1135 (代表) FAX: 0595-43-2205  
 E-mail: igasksc@ict.ne.jp  
 ホームページ: <http://www.city.iga.jp>

# W.T.Aまぢづくりセンター



住民自治のまちづくり活動もいよいよクワイマックスに入ってきました。あだあだ当センターとしての取組目録をつけていきますので、近況はお知らせさせていただきます。

※8回 開催日  
 H.18.2.23(木)  
 19:00~  
 伊賀県民局4F

10月に伊賀市に協働事業提案企画を出し、12月にOKをいただきました。住民自治協議会さんを対象に、情報発信を中心とした活動を

19年3月まで、お互いの資源を有効に活用し、役割分担して進めたいと思います。最後の協働型にもご協力下さいませ。

〒518-0867 伊賀市上野東町福居013317  
 0595-24-7612、090-3302-0627  
<http://geocities.jp/william-tells-apple/>  
 代表 中益 汀



# 伊賀 SGG クラブ メンバー募集

伊賀 S G G クラブという名前を聞いたことがありますか。

私たちは外国人旅行者のために、英語を中心とする外国語にて無償で伊賀地域の観光案内をしているクラブです。 <http://www.searchnavi.com/~hp/iga-sgg/>

外国語と日本語の分かる人がボランティア精神に基づき、訪日外国人旅行者が安心して日本旅行を楽しめるよう、外国人旅行者の接遇の向上を図る小さな親切が善意通訳 (Goodwill Guide : GG) です。この中の団体単位で活動している人々のグループを S G G (Systematized Goodwill Guide) と呼んでいます。伊賀 SGG もその中の一つです。

当クラブは独立行政法人 国際観光振興機構 JNTO (Japan National Tourist Organization) に登録されております。 [http://www.jnto.go.jp/info/support/goodwill\\_guide.html](http://www.jnto.go.jp/info/support/goodwill_guide.html)

入会応募資格 18才以上の方 英検2級又はそれ相応以上の英会話能力がある方。

お問い合わせ

〒518-0861 三重県伊賀市上野東町 2934-11 多文化センターいが内 「伊賀 SGG クラブ」  
 電話と FAX 0595-23-0912

興味のある方、是非ご連絡ください。お気軽に!

はい！こちら  
伊賀県民局  
NPO担当  
竹田です。



電話 0595(24)8137  
FAX 0595(24)8112  
メール gseikan@pref.mie.jp

## NPOへの寄付をめぐる最新の動き

前号で寄付に関する税制改正が検討されていると書きましたが、それが明らかになったようです。

一つは、個人が特定公益増進法人や認定NPO法人に対して行った寄付のうち、控除の適用下限額が1万円から5千円に引き下げられることになることです。例えばこれまで個人が1万円を寄付しても税金控除はできませんでしたが、今後は5千円を差し引いた残りの5千円を控除できるようになります。

もう一つは、認定NPO法人に認定されやすくなるという改正です。これは、少し複雑なので、詳細については財務省が発表した「平成18年度税制改正の大綱」を見て欲しいと思います。一部を紹介すると、パブリックサポートテストにおいて国や県、市町村などからの補助金額も寄付の一つに計算できることになったことにより、要件に適合するNPO法人が一挙に増えることになりそうです。控除できる寄付先となる認定NPO法人が増えるのですから、皆さんも活動に共感できる認定NPO法人を見つけたらどんどん寄付をしましょうね。

【自由民主党税制改正大綱の内容】

<http://www.jimin.jp/jimin/seisaku/2005/pdf/seisaku-018a.pdf>



1月13日～14日に災害ボランティア登録学生とともに長野県飯山市へ除雪ボランティアに行ってきました。公共交通機関を使って現地に入り、飯山市社協に設置された雪害ボランティアセンターのコーディネートで、80歳の独居老人の家屋へ向かいました。築70年のわら

ぶき屋根をトタンで加工した家は、周囲が3mもの積雪で、すっぽりと埋まった状態(>\_<)。このままでは家がつぶれてしまうため、屋根下を中心に、スコップやスノーダンプでの雪かきを行いました。慣れない作業に戸惑いもありましたが、汗だくになりながらもなんとか作業を終えることができました。これから行かれる方は、十分に現地の情報を得られることをオススメします。(社会福祉学部助手 板井正斉)



## 伊賀市ファミリー・サポート・センター 依頼会員募集中！

### ファミリー・サポート・センターって？

育児の援助を受けたい人(依頼会員)の要望に応じて、子育てのお手伝いができる人(提供会員)を紹介して、相互の信頼と了解の上でお子さんを預かるシステムです。伊賀市から伊賀市社協が委託を受けて運営しています。



### どんなことを手伝ってもらえるの？

急な仕事で保育園などの送り迎えができない…  
冠婚葬祭や講習会などに、小さい子どもを連れていけない…  
時にはリフレッシュしたい…  
放課後の子どものことが心配… など

### 援助を依頼した時の料金は？

午前7時～午後7時まで	1時間あたり700円
それ以外の時間	1時間あたり800円

兄弟姉妹など同一世帯の複数児童を預ける場合、2人目から半額。他にも細かい基準があります。

### 会員になるにはどうするの？

#### 【依頼会員】

伊賀市内に在住・在勤・在学する概ね3ヶ月～小学校6年生までのお子さんをお持ちの家庭

#### 【入会方法】

入会申込書に必要事項を記入して、伊賀市ファミリー・サポート・センターに提出していただきます。その際に顔写真(たて3cm×よこ2.5cm)2枚と印鑑が必要です。

入会金や年会費は無料です。

万一の事故に備えて補償保険に一括加入しています。(個人負担はありません)

### 申込・問い合わせ先

#### 伊賀市ファミリー・サポート・センター

住所 〒518-0869 伊賀市上野中町2976-1

上野ふれあいプラザ3階

電話 0595(26)7830 FAX 0595(26)7831

メール igafsc@hanzou.or.jp

ホームページ <http://blog.livedoor.jp/igafsc/>

開設日時 月曜～土曜 9:30～17:00

応援しますあなたの子育て！地域みんなで子育てを！

# 豊浜紀代子の「伊賀の伝説」(第六話)

## 「兼好塚伝説」

旧青山町種生(伊賀市種生)の国見山の麓に「兼好塚」と呼ばれる小さな土盛りの塚がある。この近くに今はないが草蒿寺(そうこうじ)と呼ばれる寺があり、吉田兼好が晩年を過ごしたところだと語り伝えられている。

兼好は今から七百二十年ほど前の弘安六年(一二八二)頃、吉田神社の祠官である卜部兼頭(うらべかねあきら)の三男として京都に生まれた。兼好の家系は神官であるとともに堀川具守家の諸大夫という、当時有力貴族のもとに属した官吏の家でもあったようである。兼好が御所に仕えたのはいつ頃であったかわからないが、当時彼は兼好(かねよし)と呼ばれていた。いつ頃に宮中を退出したのかも明らかではない。

兼好(けんこう)と呼ばれた出家していた頃、南北両朝の争いで、京都が今にも戦場となる形勢だったので、京洛の地を逃れ、若い頃懇意にしていた橘成忠を依那古(伊賀市)にたずね、そこで田井の庄(種生)へ行くことをすすめられたので当地へやって来た。

静かな山里で暮らすこと数年にして、兼好法師は病にかかった。この事を都で伝え聞いた光明天皇は、深くお哀れみになり、侍医をつかわして薬を与え、他にたくさんの米を下された。法師は上皇の誠意を感謝しつつも、「死は天命、之に背いて生きることが間違っておりませぬ。薬は戴きませぬ。米は土地の者に与えましよう」と使者に申し上げた。そして正平六年(一一三五一)六十八歳でこの世を去った。

兼好塚の横に、大きな碑が建っている。明治二十六年に建立されたもので、文学博士川田剛氏の撰文、巖谷修氏の筆である。碑文は漢文で、橘成忠の招きによって伊賀に住んだが、数年にして病を得、死亡した旨が記されている。この兼好塚、即ち草蒿寺跡は、今は紅梅、白梅が美しく咲いている。

また、近鉄伊賀線の無人駅市部の車窓から見ると、こんもりした森が見える。この森が昔、橘成忠の屋敷跡だと言われている。市部から青山の種生まで、現在の歴史散策ならば、車でさつと行けるが、六七百年の昔、道程はさぞや遠く疲れたことだろう。いやそれよりも、昔の人はそれが普通だと思っただろう。



## 室地聡の「一刀両断世相“斬り”(拾壺)

### 「ゆとり教育考」

ゆとりのある教育でなければ...ということで、「ゆとり教育」なるものが始まったが、ほんの数年で学力低下という結果を招来してしまい、保守的傾向の強いじいじ連中を中心に「だから言わんこっちゃない。子どもを甘やかすからこういうことになるのだ。」などと喧しい議論が巻き起こっているが、この連中、どちらの派に属するかには関係なく、本質的なことがお判りになっていない。

子どもにあまりぎゅうぎゅう知識を詰め込んでやってはかわいそうだ。少し手加減してやらねば...これが「ゆとり」派。イヤイヤ、頭が若々しく柔軟なうちに詰め込むだけ詰め込むべきだ、これが守旧派というわけだが、「教育」とは知識を与えること、詰め込むことと思っているのだから、開いた口がふさがらない。

「学習」とは「知らないことを知る」「分からなかったことが分かるようになる」「出来なかったことが出来るようになる」ことに他ならず、こんな楽しいこと、愉快なことは滅多にあるものじゃない。そして大人・子どもの別を問わず、人間楽しいこと、好きなこと...は誰に言われなくても自発的にやるもの。今も言ったように学習とはこの上なく楽しく愉快なものなのだから、「ゆとり」もへったくれも本来あろうはずがないものなのだ。

どうも「ゆとり派」にしても「守旧派」にしても、「学習」とは、嫌がるものをつつかまえて、むりやりやらせるもの(まるで強姦だよ、これじゃあ!)という認識が根底にあるように思えてならない。嫌がろうがどうしようが、むりやり押さえつけて...、これが守旧派。いやいやあまり露骨に強いるより、なだめすかしたりして多少はソフトに...、これがゆとり派。これじゃあどっちもどっちの五十歩百歩。

話は違うが、私は兼ねてから、「教師」はその前に「布」の字をつけて「布教師」であれと主張している。学ぶことの、また各教科の面白さを子どもたちに伝導していく、それが教師の最大の務めだ、とも言っている。そして「どや、おもしろいやる(どうだ、おもしろいだろう)」授業なるものをやったらどうかと言っている。授業の終わりで必ず「どや、数学っておもしろいやる」「どう、歴史って面白いでしょう」...と付け加える。

眠気を催すようなつまらない授業をやっておいて「どや、おもしろいやる」じゃドツ白けだから、先生方争って面白い授業を展開しようとなさるに違いない。さて面白ければ、楽しければ生徒はひとりについてくる。というよりも勝手に学習がすすむ。学校がJPL(Joyful and Positive Life=喜びに溢れた前向きな生活・人生)実践の場となる。そしてそこには「欣求」がある。

昔からよく言われているように、「泉の前まで馬を引っ張って来ても、渴いていない馬には水は飲まずことは出来ない」。つまり欣求していない者に、知識をむりやり詰め込もうとしても、結果は徒勞しかないだろうことにお互い深く気付くべきだ。かくゆう小生も、勉学にいそしんだことなど微塵もなかったような...残念!



# なぎの「ぶらっと会議」通信



1月のぶらっと会議は名張で開催したんですが、上野から来るメンバーは、事故渋滞のために1時間〜2時間かかってやっとたどり着いた！という感じでした(^^;)。遅れてはじめてのんですが、日報の書式検討など、エクセルをフル活用しよう、ということで悪戦苦闘中です。とりあえず記録をつけることに重きを置こう！そのあと相談の部分を共有しよう、ということで取り組んでいます。

ぶらっと会議を始めてずいぶんたちますが、やっぱり今、必要なネットワークになってるなぁということです。いろんな情報を持ち寄って共有することもしているので、わりと連携もスムーズです。また、共同視察なんてのも以前からですが、受けたりもしていて、自分ところだけではなく、ぶらっとがあるというよさを感じています(^^)

4月からコーディネーター間では気を引き締めてまた業務に取り組むため、日報も相談の共有もともに構築中です！

## 次回ぶらっと会議のご案内

### 2月のぶらっと会議

【日時】2月8日(水) 18:30~21:00

【場所】上野ふれあいプラザ4階講座室

### 3月のぶらっと会議

【日時】3月8日(水) 18:30~21:00

【場所】いがまち保健福祉センター愛の里

## 鬼瓦編集長の市民活動時事批評 Part14「除雪ボランティア」



皇學館大学の板井さんから、飯山市における除雪ボランティア体験レポートが掲載されましたが、今年の冬は記録的な豪雪のため、新潟県、長野県、秋田県、富山県において除雪ボランティアの募集が行われています。中でも、新潟県や長野県では災害救助法が適用された市町村も出ています。災害ボランティアセンターが開設されるのは、地震や台風、豪雨水害に限定される訳ではなく、豪雪や雪崩災害も想定しておかなければなりません。更に、除雪ボランティア活動は、誰でもできる活動ではなく、現場に行くだけでも危険が伴ったり、屋根に上った除雪作業などはかなりの危険を伴う作業であるため、雪道での運転や、雪かき作業に関して、相当の経験を有する人員と装備を確保する必要があります。くれぐれも二次災害を起こさない事が大切です。

また、一方では、除雪ボランティアと名乗って、高額な除雪費用を請求する悪徳業者が出没しているようです。善意の皮をかぶって、雪かきができずに困っている高齢者を中心に、言葉巧みに騙す行為は絶対に許されません。ボランティアと悪徳業者を見分けるためにも災害ボランティアセンターは必要です。

北日本の雪は、まだまだこれからが本番です。今後も除雪ボランティアが必要になる可能性がありますので、活動を希望する方は、事前に除雪ボランティア登録をしておくことをおすすめします。

発行 〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地1 上野ふれあいプラザ3階 伊賀び〜と編集委員会

電話：0595(21)5866 FAX：0595(26)0002

E-mail ue-vac@hanzou.or.jp ホームページ <http://www.hanzou.or.jp/beat/>

窓口 = プラットホーム

伊賀市市民活動支援センター 〒518-1395 伊賀市馬場1128番地 多目的集会施設内

電話：0595(43)1135 FAX：0595(43)2205 E-mail：igasksc@ict.ne.jp

名張市社会福祉協議会

〒518-0718 名張市丸之内79 名張市総合福祉センターふれあい

電話：0595(63)1111 FAX：0595(64)3349 E-mail：n.furevc@nava21.ne.jp

伊賀市社会福祉協議会

〒518-0869 伊賀市上野中町2976-1 上野ふれあいプラザ3階

上野支所

電話：0595(21)5866 FAX：0595(26)0002 E-mail：ue-vac@hanzou.or.jp

伊賀支所

〒519-1413 伊賀市愛田513 いがまち保健福祉センター「愛の里」

島ヶ原支所

電話：0595(45)1012 FAX：0595(45)1050 E-mail：iga-vac@hanzou.or.jp

〒519-1711 伊賀市島ヶ原4743 島ヶ原老人福祉センター「清流」

阿山支所

電話：0595(59)3132 FAX：0595(59)3145 E-mail：shima-vac@hanzou.or.jp

〒518-1313 伊賀市馬場1128-1 阿山保健福祉センター

大山田支所

電話：0595(43)1854 FAX：0595(43)1577 E-mail：aya-vac@hanzou.or.jp

〒518-1422 伊賀市平田656-1 大山田福祉センター

青山支所

電話：0595(47)0780 FAX：0595(46)1165 E-mail：oo-vac@hanzou.or.jp

〒518-0226 伊賀市阿保1988-1 青山福祉センター

電話：0595(52)2999 FAX：0595(52)3555 E-mail：ao-vac@hanzou.or.jp

W.T.Aまちづくりセンター

〒518-0867 伊賀市上野福居町3317 E-mail：nagi\_47\_4\_3@yahoo.co.jp

電話：0595(24)7612 FAX：0595(22)0072 携帯mail：nagi-47.4.3@ezweb.ne.jp

暮らしの情報センター

〒518-0441 名張市夏見字下川原251-1 パークシティなばり2階「C.O.T café」

電話：0595(61)2355 FAX：0595(61)2355 E-mail：cot@e-tuji.com

皇學館大学名張キャンパス

〒518-0498 名張市春日丘7番町1番地

学生支援センター

電話：0595(61)3351 FAX：0595(61)3350 E-mail：gakusen@kogakkan-u.ac.jp